

堺の取り組みについて

- ★がんに関するパネル展
- ★「からだといのちのブックリスト」製作



堺市立健康福祉プラザ
視覚・聴覚障害者センター(点字図書館) 王田 桂子



まちライブラリー プラザ「ひといき」 がんと健康情報コーナー

ひといきは「がん」「健康」「いのち」を
テーマにしたミニ図書館です

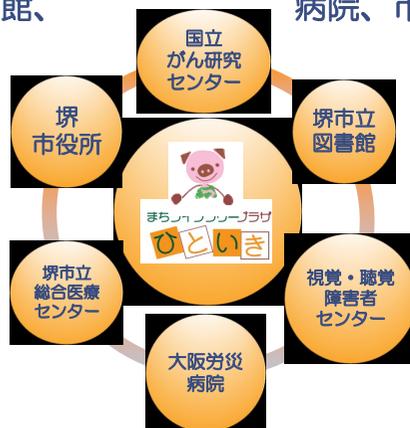
ボランティアさんのご協力で、
図書の貸出や各種イベント等を行っています



ひといきキャラクター
「とんとん」

がん情報普及のための 医療・福祉・図書館の連携プロジェクト

福祉施設と図書館、 病院、市役所・・・が連携



この連携チームの特徴

障害のある方への情報提供を行うこと

☆たくさん図書は出回っているけれど、
見えないと中身はただの紙の手ざわりでしかない。

☆誰にも知られずに情報を入手したいけれど、
誰かに読んでもらわないとできない。

取り組み1

がんについて広く知ってもらうためのパネル展の開催

- ★がんについて、連携チームそれぞれの方面から紹介するパネル展を開催。
- ★図書を並べ、実際に手に取ってもらえるようなコーナーも。
- ★直接、がんについての質問や、相談ができるコーナーも設けた。
- ★来場者で聴覚や視覚に障害のある方には、手話通訳者や要約筆記者、テキストの読み上げや音声による音訳図書の紹介なども行った。



取り組み2

「からだといのちのブックリスト」の製作



- ★連携チーム内でおススメ図書を出し合い、「からだといのちのブックリスト」として冊子にまとめ、希望者に配布する。
- ★この冊子で紹介した図書は購入等で揃え、「巡回セット」として、連携チーム内それぞれのイベント等で展示できるようにした。
- ★冊子はデータを共有し、必要な時にそれぞれで印刷して使用することにした。
- ★当館は点字図書館なので、この冊子を、点訳・音訳・テキスト化して、視覚障害者の方にも提供できるように進めている。

企画を進めていくうえで

大変だったこと

- ☆担当を引き継いだが、どうしたら良いのかわからない。
- ☆通常業務のある中で進めていくこと。
- ☆コロナ渦の制約の中、予想・予定で進めていくこと。
- ☆直接会う機会が少なく、意思疎通が難しい。

良かったこと

- ☆ネット会議で、忙しい中でも移動時間がかからない分参加しやすい。



それぞれの負担を減らすためにも、「巡回セット」を利用することで、それぞれのイベントに合わせた啓発を行うことが出来る。

その後は、定期的におすすめ図書などの内容確認を行くことで、大きな負担をかけることなく最新版の情報を提供することが出来る。



ありがとうございました。



まちライブラリー プラザ「ひといき」



堺市立健康福祉プラザ 4階 市民交流ひろば

★開催日：金曜日(祝日はお休み)

★開催時間：10時～15時